

「令和6年度宮城県産いちご輸出拡大セミナー」
開催要領

1 目 的

宮城県では「いちご100億円産地の育成」に向けて、いちごの新規参入拡大や輸出促進に向けた基盤構築等を進めている。近年、県内のいちご生産者と食品商社が連携し、産地から海外現地小売店まで大ロットのいちごを鮮度保持しながら定期的・定量的に輸出するバリューチェーンモデルが構築されるなど、宮城県産いちごの輸出拡大に向けた新たな動きが出てきている。

今後も海外需要に応じた県産いちごの輸出を継続して行い、更なる輸出量の拡大を図るとともに、本県の強みを活かした持続性・収益性の高いいちご輸出産地を確立することを目的に本セミナーを開催する。

2 日 時 令和6年11月1日（金） 午後1時30分から午後4時まで

3 場 所 TKP 仙台西口ビジネスセンター カンファレンスルーム3A
（宮城県仙台市青葉区本町1-5-31 シエロ仙台ビル3階）

4 主 催 宮城県
株式会社アライドコーポレーション

5 内 容

（1）開会

（2）開会挨拶、宮城県のいちご輸出事業について

宮城県経済商工観光部 国際ビジネス推進室長 鈴木 清英

（3）いちご輸出に必要な手続き、日本産いちごの海外需要について

株式会社アライドコーポレーション 海外事業部 今井 政樹

（4）宮城県産いちごの輸出体制（産地事務局の取組）について

株式会社いちまん 代表取締役社長 平田 満氏

（5）いちご輸出に取り組む生産者の体験談

①株式会社ごえん（山元町） 平田 勘司郎 氏

②株式会社トライベリーファーム（石巻市） 代表取締役 高瀬 卓弥氏

（6）情報提供

①いちご100億円産地の育成に向けた取組について

宮城県農政部園芸推進課

②仙台空港の概要と利活用促進について

宮城県土木部空港臨空地域課

（7）質疑応答、意見交換、いちご輸出相談

（8）閉会

6 参集範囲

県内いちご生産者、宮城県食品輸出促進協議会員、関係機関（J A全農みやぎ、J A宮城中央会、県内J A、ジェトロ仙台、(一社)東北経済連合会、東北農政局、市町村、宮城県庁関係部署）等

7 参加申込

令和6年10月25日（金）までに、別紙参加申込書により事務局（株式会社アライドコーポレーション海外事業部）宛てメール又は電話又はF A Xで申し込み願います。